



みみをかたむける仕事

――週に二日、老人ホームや独り暮らしのお年寄りを訪ねて、お話に耳を傾けるボランティアをしています。世間話や茶飲み話のお相手と思われがちですが、私も六六歳、同世代だから分かる悩みや孤独感を和らげるカウンセリングの仕事です。聴くことに徹してアドバイスなどはしま

せんが、相手の方は話しているうちに、気持ちの整理がつくようです。私は素直に聴き、話したいという気持ちまで受けとめるような心がけています。

「なにも話をするのではない」と云っておられた方が、今では椅子を用意して待っていて、一時間も、時には笑い声をあげて話しを続けてくださいます。同じ話が繰り返されても、し

っかり向き合っていると表情が明るくなっていくのがわかります。神奈川県平塚市の熊沢晴子さんからのおたよりです。この年令になっても喜んでもらえ、人生の先輩から勇気や元気をいただけるやりがいのある仕事です、とありました。

株式会社ダスキン社長

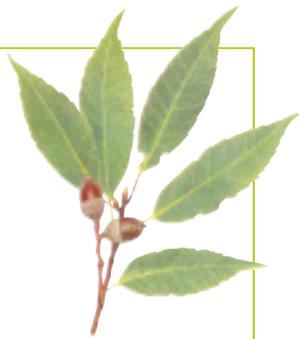
伊東美章

喜びのタネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る

no.455

写真・市谷 健「いいい! いいことばかりだよ、今日は」



葉っぱのアトリエから (3)

絵と文・葉っぱの画家
群馬直美

心にしみる音楽のように

どちらかというところ、私はマイナス思考の強い人間でした。いつも「どうせ私はダメだよ」と思ってしまう情けないやつです。

美大生の時、自信満々の作品を「子どもがゴワガツナイテイル」と下宿先の大家さんに言われ、何も創れなくなってしまう時代がありました。落ち込みを何とかしたいとジヨギングを開始して数カ月。せいぜいしながら橋のたもとの木々を見上げたその瞬間、瑞々しい新緑の葉っぱがみなぎる生命力で光り輝いていたのです。美しい音楽が心の奥底に響き、頭の中のもつれた糸を解かすようでした。あの新緑のきらめきを伝えたい！

こうして葉っぱをテーマにしたものの（今とは違った作風で）、ある国際的な展覧会で候補作となったのに選ばれなかったことがありました。納得できなくて審査員に聞くと、「僕は中心からはずれたものは選ばないんだ」と言われたのです。そのとき思いました。「世界のどこかに中心があるんじゃない。中心は一人ひとりの中にあるんだ」と。

そうだ、1枚1枚個性のある葉っぱを、肖像画のように描いてみよう。気負わずに。アーティストでなくてもいいじゃないか。葉っぱもありのまま、私もありのまま。

「みんな、それぞれがかけがえのない存在だよ」葉っぱの声は、私の行く道を示しながら、音楽のように響いています。

老木のトウカエデ

初夏、トウカエデの若葉が重なり作る優しい陰影は、星屑をちりばめたみたいにキラキラしています。そのまま天に昇って消えてしまうのではと心配になるくらいに美しい。実際はものすごく丈夫な木で、公害にも強いのでよく街路に植えられています。

近所の農業試験場の広場にいる老木トウカエデは私のお気に入り。初めて出会った時、威風堂々とした姿に中国の山水画のイメージ

「葉っぱはかけがえのない友であり、先生でもあります」と、群馬さん。
若いとき、ギザギザしているトウカエデの葉は老木になると丸くなってくるそうです。
「いきがらなくても、ありのまま、そのままがいいんだよと教えてくれるようですよ」

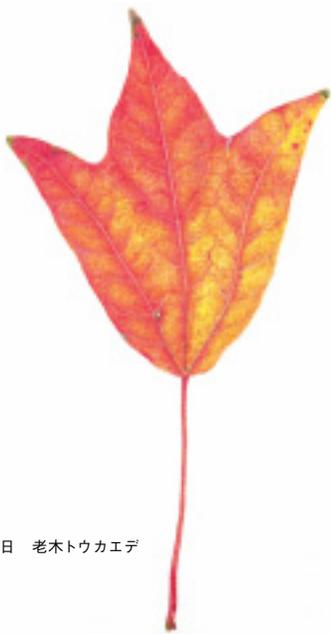
「ありのままがいい」



1月6日 トウカエデ



11月15日 トウカエデ



11月15日 老木トウカエデ



だあ〜れだ? 名前は「このの」なの。
山形県遊佐町 高橋 律

Jorothe
Fashion
Grand Prix

露出度600万デビュー!!



笑顔ありがとう。元気でした。
北海道函館市 寺田 曜司

イイ感じのあなた、
写真を送ってください。

マイファッション募集。



リトル・フラガール
兵庫県加古川市 水越由紀子

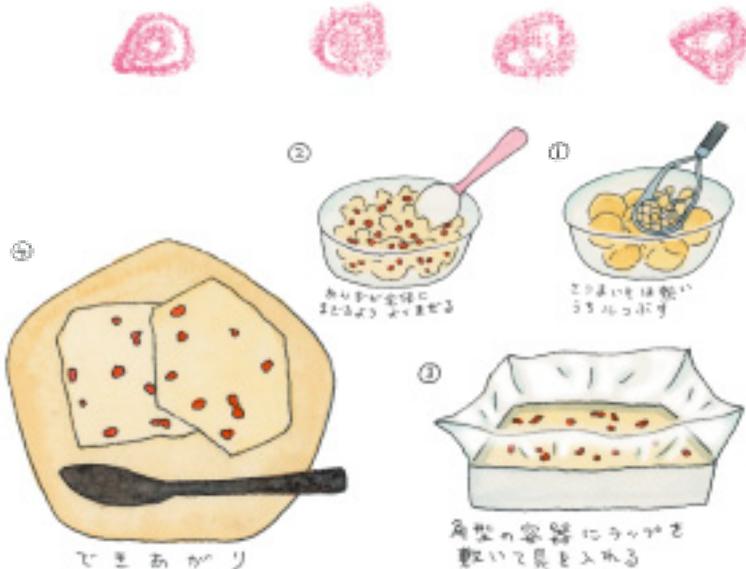
「出してみたら?」と友人や家族に勧められた我ながらうれしい写真、どこかに眠っていませんか? 本紙に発表して、600万人の読者にお披露目してください。ステキなわたしやかわいいペットが撮れたら送ってね。故郷のおばあちゃんも喜んでくれるかも。お待ちしてま〜す!
(詳細は7ページ)

おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



お料理研究家 こいけりえ



さつまいもの食べ方一つで色々あるけど、そのままでも、お菓子にしても口に含むと何故か感じる安心感。ああ、この味…ほっとする…そんな素材さがギョツと詰まった「いもようかん」に、甘酸っぱいあんずを入れたら、あらら、なんか上品!

ほっとする和の美味 「あんず入りフルーティーいもようかん」

◎ さつまいも

さつまいも2本は、洗って皮のまま2cmくらいの輪切りにし、水にさらしてアクを抜く。皮をむいて鍋に入れ、さつまいもがぶるぶるのの水を入れ、やわらかくなるまで茹でる。さつまいもが黄色くなってやわらかくなったら、火を止め、水気を切ってボールに入れる。さつまいもが熱いうちに潰す。

◎ あんず

あんず(ドライのもの)7〜8枚を細かくきざんでお湯に入れやわらかくしておく。バター20gは湯煎にかけて溶かしておく。

◎ ようかんを作る

潰したさつまいもが熱いうちに、砂糖大さじ2、塩少々、溶かしバターを入れてよく混ぜる。さらにぎざぎざんでやわらかくしたあんずを加えて混ぜ合わせる。(あんずが全体にいぎわたるようによく混ぜること)15×10cmくらいの角型の容器(タッパーや牛乳パックでもOK)に、隙間が出来ないようにきゅちりと詰める。へらで押しつけて空気を抜いて固める。ラップのフタをしつかりして冷蔵庫で30分くらい冷やして落ち着かせる。型からはずして食べやすい大きさに切る。オレンジ色のがんずがアクセントになった、簡単かわいい和菓子の完成。予め大きめに切ったラップを、容器にぴったりと敷き詰めてからさつまいもを入れると、ようかんが取り出しやすくなります。

◎ 食べ方

この時期は半日ほど冷やすと、しっとりなじんで一層美味しさが増します。あんずのさつぱり感とさつまいもの自然な甘みがバランスよく調和された上品なようかん。冷たい麦茶と一緒に召し上がり下さい。

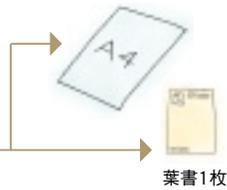


「木の葉の美術館」アート&エッセイ
170点の葉っぱの画集。
2冊目は「木の葉の宝石箱」。ともに
世界文化社/2100円(税込み)

群馬直美/群馬県高崎市生まれ。東京都立川市在住の画家。作品はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.wood.jp/konoha/>

1回使っただけで捨てるのはもったいないと、わりばしリサイクルグループ「くるりん」を99年結成。地道な活動を続けて8年、調布市や企業、商店も回収に加わり、今や全市民が協力しています。元気なメンバー達の定期活動をお訪ねしました。

A4コピー用紙1枚



葉書1枚

花ビンの水が腐るのを防ぐ



竹炭ちゃん



土壌改良材として砕いて混ぜる
消臭剤にも使えます



「くるりん」でリサイクルの輪ができた。

現役時代より忙しいかな
わりばしも森林資源だよ

年間250億膳、10万トンも使われるわりばし。日本の食文化の一つではあるけれど、10万トンの木の大部分はゴミになり焼却されています。120㎡の家が1万7千戸建つと聞いてビックリ。

活動の始まりは、資源がモッタイナイと、小川里子さん(調布市・寿司店経営)が集めていたわりばし。回収が広がり、

「8年間で、全市民が参加と言えらる」までになり、回収量も3トンが14トンに増えたのは「くるりん」の約40名が手弁当で地道にやってきたおかげ。

広報を引き受ける馬部美佐夫さんはお祭りの日は必ず出向きます。イベントや出前講座などで活動を紹介、わりばしの歴史まで調べて小冊子を作るなど大活躍。もとは技術屋さんで現在、市のゴミの委員会の委員も務めます。

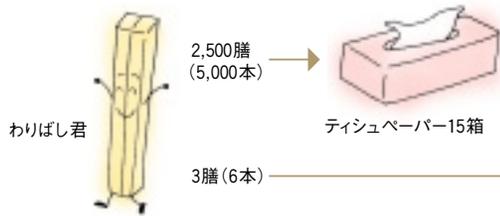
「僕はしゃべるのが大得意」講演となると持つて来いの人は岡田さん。学校の授業にも行きます。みんな得意の持ち分があり、出来ることを出来る時に出来る範囲で行い、会則、会費なし。

男性パワーがすごいです。集まると意外な重さになるわりばしをガガガとゆすつて、「まだ詰められる。段ボール箱はヤマト運輸さんが引越便の使用済みを提供してくれるんです」

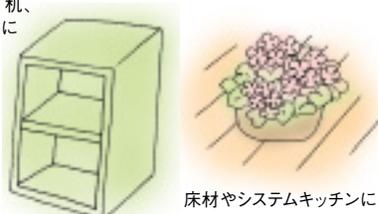
と沖田さん。回収したわりばしから箸袋やゴミ、串、プラスチックなどを取り除き、1箱に目一杯詰めて、輸送時の嵩を減らします。

ここは菊野台地域福祉センターの中庭。市内に7カ所+市役所の回収ステーションからと、深大寺そば組合から、事業所や飲食店からの3ルートが集結して、小名浜合板(株)(福島県いわき市)へ、ほぼ月1回、わりばしを送られるのです。

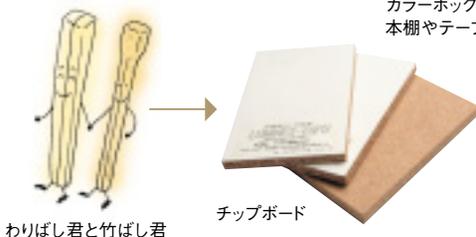
何にリサイクルされるの？



カラーボックス、机、本棚やテーブルに



床材やシステムキッチンに



わりばし君と竹ばし君



60～70歳くらい。こんなに元気な人達って、そうはいない。左から3番目が馬部さん。右から沖田さん、岡田さん。いきいきしてます。



回収箱も手作り。お年寄りから小さな子まで、誰でもわりばし1膳で参加できる活動。

446号で紹介した チエアウオーカー・ジーンズの 長屋宏和さんが本を出されました。

心が折れ、体が傷つき、情けないほど悲しい時は、この本を手にとろう。逃げたい、投げ出したい、イジメや別れに苦しむ人は、読み終わって、曇り空が晴れてくる予感がするに違いない。「不可能なことはない」「やってみなければわからない」という長屋さんの生き方に胸が熱くなる。レースの魅力も分かる本。

F3レーサーとして華やかな世界で将来を嘱望された若者がクラッシュ事故。

回収したわりばしを家具や紙に。

社会奉仕で、元気の素
楽しいから来ている

活動当初は木ばしだけ製紙工場に送っていましたが、今は竹の混入品をチップボードにして家具や建築材料にリサイクル。その家具が処分されると粉砕チップになり、再度ボードに整形という具合。「くるりん」ルートのわりばしは、完全にリサイクルの輪に乗った形。森林資源の保全になっています。

最近ではMyはしを提唱する人も。「よいことですが、現実に対処するため回収は必要」と馬部さん。現在、輸入品は安く、木はほとんど切り倒されています。はし1膳とっても環境問題はグローバル化しています。

毎月1トン強のわりばしの回収は、ゴミ減量、CO₂や焼却灰も減少し、市のコスト削減にもなります。けれど大きな廃材中心の合板製造工場では、わりばしはかえって手間がかかるため割高に。お願いして引き取ってもらっている状態なので、お金は入ってきません。だから活動資金なし。もっぱらバザーなどでまかない、「楽しいから来ているし、市民の協力のおかげ」と口をそろえました。

わりばしと対話しながら学んできた、市のゴミ行政にインパクトを与えてきた、そういう自分達を誇りに思うと言った「くるりん」の方々。考えただけでは、それがどんなに立派でも変わらない。身近で具体的な活動を持續してこそ変わっていく。そう教えられた1日でした。



「それでも僕はあきらめない」
元F3レーサー
車いすからの新たな挑戦
大和出版 定価(本体1500円+税)

死の淵から生還したが四肢マヒの重度障害者に、「一生、車いす生活。レースはムリ」と医師に言われ、「僕の人生は終わった」と絶望したという。けれど「おまえなら大丈夫だ」と友人は言い、「先生は歩けないと言ったけど、私は信じてないから」母と妹は言う。「あきらめてない家族や友人がいるのだから、僕があきらめてどうする」そう思ったこと、指の使えない、やがて壮絶なりハビリを経て、指の使えないドライバーとしてカートレースに復活、世

界初の快挙だった。更にチエアウオーカーも一般の人でも着られる、ファッション性の高いジーンズを作りブランドを創設。勇気とは何かを考えさせられる。

(看護師の方にもおすすめ！)



黒い布

茨城県稲敷市 吉田テル

「8月15日」。永久に忘れることのない日が62回目となって、間もなくやってくる。第2次大戦が「敗戦」というかたちで終わった日だ。

私は当時15才で女学生だったが、たまたま、この日は家にいたので、家族揃ってラジオの臨時ニュースを聞き、「日本が敗れた」ことを知った。

この日の夕方、家事を手伝う為にうす暗い台所に立ったとき、叔父が居間の電気を点けたので、「暗くしておかないとまだアメリカの空襲があるよ」と言ったところ、「もう大丈夫だよ」と言っていて、叔父は電球にかかった「黒い布」をはずした。

その瞬間、周囲がバツと明るくなり、隅々まで光が届いた。「もう空襲はないのね」と何度繰り返したことが。明るい光の下で本を読み、家族と笑いながら食事が出る。「黒い布」のない電球の光は人々の心をも明るくするのだ、と単純な私は現在も思っている。そして、世界のあちこちで起きている争いとは永久になくなって欲しいと、強く願っているのである。

——生きてるっていいなあ。だから平和を日本でも世界でも。



一枚のお皿

島根県出雲市 勝部ケイ子

葉っぱ模様の少し厚めの中皿、決して高価な品ではないが私の宝物。毎年、終戦記念日が近づくと、よく母がくり返した話を思い出します。

「戦時中、食べ物も少なく、成長期の上の子達には例え大根飯でも腹いっぱい食べさせてやりたかった。でも、下の子達も一人前の量が同じでないとぐずるから、姉ちゃん達の大根飯はしっかりと押さえつけて盛ったものだ」と母は笑っていた。

その母は10年前に亡くなりましたが、5人姉妹は今も健在です。きつと姉達も同じこのお皿を持っているでしょう。このお皿は親、姉妹の絆のあかし。このお皿をいつも使って当時を思い、贅沢を自分なりに戒めています。

——「みんな、みんな、大きくなあれ、母さん。」



子育て

岩手県紫波町 武藤真規子

9年前双子の息子を出産。24時間授乳に3時間の睡眠。体が弱かったので度々の病院通い。洗濯物の山。立ったままの食事。そして4年間も続いた夜泣き…子育ての大変さに戸惑い、くじけそうになるといつも、私を育ててくれた両親を思った。

自営業をしながら3人を育てた両親。どんなに忙しくても私たちの話を聞き、トランプ遊びをし、子供との時間を大切にしてくれた。父はいつも優しく本を読んでくれ、冬は一緒に寝て冷たい足を温めてくれた。菓子職人の父は、誕生日やクリスマスには大きなケーキを作った。母は明るくて、いつも私を連れて配達や買物に。休日も忙しく、学校の友達が家族一緒に外出するのが羨ましくて、だだをこねたこともあったっけ。

食べるため、育てるために必死に働いてくれた両親。親の苦勞を子供を持って知りました。なかなか恥ずかしくて言えませんが、両親に「ありがとう。長生きしてね」と言いたいです。

——これ屋なもので…。



親離れ？

愛知県春日町 中田繁美

近所の人が言う。「お宅、夫婦二人だけ？ さびしいね。どうして二人とも出しちゃったの？」たまたテレビだけがしゃべってる生活。」親から離れて学生生活がしたい」それを否定もできないし…。

長期の休みも「交通費がもつたないので帰らんわー。こちでバイトしてるわー」とそっけない。仕方ない。さびしい限りです。大したことないメールには応答なし。でも、たま〜に電話で将来の夢や、今の関心事を話してくれる。「私の知らないことをこの子達は経験して輝いてるんだ。ステキ！」とやさやかな幸せを感じる一瞬です。

子供は前を向いてどんどん進んで行き、たまに後を振り返ると親が笑顔で見守っている。安心してまた前に進む。そんな感じがいいのかも…ね。

——「でもまっぴらから(笑)ママが大好き」

四つ「る」

どんなことでもお話のできる
仲の良いお友達をつくってください。
人生を楽しいものにするには、
より良き友をつくることです。

その原則、四つ「る」は、

- 一、言える……言いたいことを言える。
- 二、やれる……自分が幸せになる。
- 三、見つける……他の人を責めず、
他の人の良さを見つける。
- 四、持てる……物も心も豊かになる。

鈴木清一



カラス

愛知県犬山市 今津紀代

夏休みに子供たち30人を小学校の体育館に引率した日、教頭先生が、早くから体育館を開けて、むし暑い空気を換気しておいてくれました。

子供たちが到着した時、先に一羽のカラスが体育館に。突然のことに驚いたカラスは、もう大変。天井近くに舞い上がり、子供たちのドッチビの練習中、降りることが出来なくなりました。子供たちのためにも思っていたことが、カラスに悪いことをしたと、教頭先生は反省しきり。

「誰もいなくなればちゃんとカラスは入り口から帰ります」と、くれぐれもカラスの干物を作らないように先生にお願いして帰りました。ふと眺めると、出入口に取りたてのトマトとキュウリが。カラスはもう少しグルメかもネ。教頭先生！

——カラスなぜ泣くの？(カラスの勝手でしたよね)

お-----い！ もうすぐ飛びます。



北海道蘭越町 佐々木みどり(長万部の浜で)

あなたのお便りや
写真をお寄せください

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンのお店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先

〒163-0232 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル内郵便局 私書箱 第47号

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室

電話 03(5909)6703

e-mail:koho4@mail.duskin.co.jp

●2ページの群馬直美さんの連絡先は

〒190-0013東京都立川市富士見町2-32-27 石田倉庫No.3 2F

●4-5ページの「くるりん」

連絡先/馬部美佐夫さん

〒182-0002 東京都調布市仙川町1-33-13

e-mail: ry3m-bb@asahi-net.or.jp



お気に入り

京都市 森本裕枝

結婚してすぐの頃、主人が「ぐずついた空も、突然の雨もこれで嬉しくなるだろう？」と黄色いチューリップ柄の折りたたみ傘をプレゼントしてくれた。ところが、心躍るはずのその傘は、雨よけお守り”の如くなかなか出番がないまま、12年が経ってしまった。気がつくと思が曲がっていて、スムーズに伸び縮みしない。修理に出すと、直すのは無理との返事。折たたまずにこのまま使うのもどうかと思ったが、捨てられない。やむなく母に相談したら、あつけらかんと言った。

「ほといて、バッグにしちゃえば？」確かに薄くて丈夫。コンパクトにたためて撥水加工もバッチリでマイバッグにもってこい！ 母のひらめきと主人の思いやりに感謝しつつ、以来ずっ〜と一緒。

——京女の「しまつ」の精神。愛情深いかからかも。



エコらんど 4

昔からお掃除にまつわる言い伝えは多いですが、「トイレを磨くと美人になる」というのはその最たるもの。トイレを磨くと心はすっきり。笑顔もなごやか。

掃除には、きれいにするための知識や技術だけでなく、計画性や段取り力なども必要です。学校掃除のようにみんなでする掃除では、チームワーク・協調性なども求められます。ダスキンでは、掃除を通して子どもたちの力を伸ばしたい!という願いから、学校の掃除教育を支援するカリキュラムをサイト上で無料で公開しています。

「前号のエコらんどにおけるエアコン節電の数値データは、情報サイト“オールアバウト”より引用しました。
<http://allabout.co.jp/>」



問. 下の2つの絵には、ちがうところが**8カ所**
あります。さて、どこでしょう?



〈答え〉女の子の手、ウエルパスマイルド(消毒剤)、水道水、スリッパ、花びら、花瓶、洗面ボウル、カーテンの柄の大きさ

- 手洗いの仕上げに手指消毒剤を。殺菌成分とアルコールのチカラで、高い消毒効果が得られます。
- ちょっと気になる時は、ウエルパスマイルドをシュッとスプレーするだけで、手軽に消毒。
- ローションタイプなので、手指のすみずみまですり込みやすく、すばやくしっかり消毒できます。また、手にやさしい点も魅力。



医薬部外品

ハンディポンプは別売りです。

手指消毒剤 **ウエルパスマイルド (500ml)**

お客様標準価格 **1,785円** (税込) [3-5948]

●成分:エタノール、ベンザルコニウム塩化物、プロピレングリコール、グリセリン ●内容量:500ml ●サイズ:底面65×65mm高さ190mm (ポンプ装着時:235mm)

※内容量:1Lタイプ(2,625円<税込>)もあります。

ハンディポンプ500ml用(別売) お客様標準価格 **210円**(税込) [3-5949]

※詳しくはお客様係までお問い合わせください。

※この用紙は再生紙を使用しています。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室
〒163-0232

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル32階(私書箱47号)
TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp